

研修医・指導医リレーエッセー^{③③}



仲間とともに歩む研修の日々

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 初期研修医 常光 修輔



岡山医療センター研修医1年目の常光修輔と申します。岡山県出身で、島根大学を卒業しました。医師国家試験や卒業式を終え、新たな環境での生活が始まってから早くも4カ月が経ちました。学生時代は診療の一部を見学・実習する立場でしたが、医師となった今は、患者さんの診療に責任を持って関わる立場となり、日々身の引き締まる思いで過ごしています。

研修が始まった当初は、電子カルテの操作一つとっても慣れないことばかりでした。採血や点滴、診療録の記載など、学生時代に学んだ知識だけでは対応できない場面も多く、自分の未熟さを実感する毎日でした。しかし、指

導医の先生方をはじめ、看護師、薬剤師、検査技師など多職種の皆さんが丁寧に指導してくださり、少しずつできることが増えてきました。医療は決して一人で行うものではなく、多くの職種が連携して初めて成り立つものであることを改めて実感しています。

そんな慌ただしい研修生活の中で、特に印象に残っているのが5月に同期や先輩方で行ったバーベキューです。研修が始まってまだ1カ月ほどでしたが、休日に病院を離れて交流することで、普段は見ることでできないそれぞれの一面を知ることができました。仕事中は真剣な表情で診療に取り組む先輩方も、休日には気さくに話しかけてくださり、研修や将来の進路についての相談にも乗ってくださいました。また、同期とも学生時代の思い出や趣味の話で盛り上がり、お互いのことをより深く知ることができました。

研修医生活では、日々新しい知識や技術を学ぶことが求められます。その一方で、悩みや不安を抱えることも少なくありません。しかし、同じ目標に向かって努力する同期や、温かく支えてくださる先輩方の存在は大きな支えになっています。バーベキューを通じて築かれたつながりは、その後の研修生活の中でも大きな力になっていると感じます。

医師としての第一歩を踏み出したばかりの今は、毎日が新しい発見と学びの連続です。これから出会うさまざまな経験を一つ一つ大切にしながら、自分らしい医師像を少しずつ築いていきたいと思っています。患者さんに安心感を与えられる医師を目指し、支えてくださる指導医や医療スタッフ、そして同期への感謝を胸に、これからも前向きに研修に励んでいきたいと思っています。研修で得られる知識や技術だけでなく、人とのつながりもまた、医師として成長するための大切な財産になると感じています。これからも仲間と切磋琢磨しながら、一歩ずつ着実に歩んでいきたいと思っています。



研修医1年目のBBQ会



鹿田レガッタに参加した岡山医療センター研修医